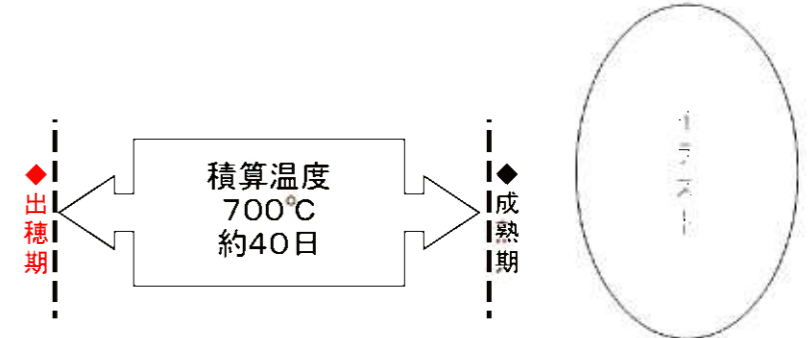


# 大麦(ファイバースノウ)の栽培ごよみ

- 良質大麦生産のポイント
- ◎ 早生跡を基本としたほ場選定
  - ◎ 播種前の徹底した排水対策
  - ◎ 土づくりの実践
  - ◎ 適期・適量の播種
  - ◎ 生育に応じた追肥
  - ◎ 赤かび病適期防除
  - ◎ 適期収穫



時期	9月 ~ 10月	11月 ~ 12月	1月~2月	3月 ~ 4月	4月 ~ 6月
生育期	播種準備 ~ 播種期	分けつ期	積雪時期	融雪直後 ~ 草丈伸長期	出穂期 ~ 収穫期

**主な作業内容**

- 播種前の排水対策
- 土づくり
- 種子の準備
- 播種作業 (播種深度3cm程度)
- 播種後の排水対策
- 第1回追肥 (播種後1ヶ月頃)
- 第2回追肥 (融雪直後に施用)
- 第3回追肥 (止葉展開期に施用)

※止葉展開期追肥の目安 (分施肥系)

葉色	葉色板	施用量 (kg/10a)
5未満		硫安 7kg
5以上		硫安5kg (500本未満) 追肥しない(500本以上)

※硝子粒の発生を抑えるため、茎数と葉色に応じて施用する。(遅くても出穂10日前までに)

**基本防除**

- ⑦ 赤かび病防除 (1回目)
- ⑦ 赤かび病防除 (2回目)
- ⑦ 赤かび病防除 (穂揃期)

★ 収穫 (適期刈取)

・ 大麦、米相互の混入を防ぐため、登録されたコンバインにて刈取りを行う。  
・ 子実水分30%以下で刈取り開始

**カラスノエンドウ**  
収穫前に必ず抜き取る

**① 播種前の排水対策**

- ・ 稲刈り後に早急に額縁排水溝と基幹排水溝(約3m間隔で溝幅30cm、深さ20cm)の設置。
- ・ 額縁排水溝と排水口との確実な連結
- ・ 心土破碎による透水性の確保。

排水対策参考図

**③ 種子の準備**

- ・ 播種時期と種子量 (kg/10a)

播種方法	播種時期		
	9月	10月上旬	10月中旬
条まき(ドリル播き)	6.0	6.5	8.5
全面播き	6.5	7.0	9.0

・ 種子消毒(温湯消毒の場合は必要なし)

薬剤粉衣	ベンレート水和剤20を乾燥種子重量の0.5%粉衣
種子10kgに50gの薬剤を入れ、水200ml加用して混和する。	

**⑥ 施肥基準**

施肥区分	肥料名	10a当り施肥量	施肥時期	備考
分施肥系	基肥	基肥555	播種時	葉色4.5程度に、越冬前の生育量を確保する。茎数1,200本/m <sup>2</sup> 以上は、施用を控える。止葉展開期追肥の目安を参照
		全層	35kg	
		側条	30kg	
分施肥系	追肥	硫安	11月上旬	止葉展開期追肥の目安を参照
		1回	20kg	
		2回	20kg	
肥効調節	LP大麦48号	45kg	止葉展開期	

※ LP大麦48号を施用したほ場については、追肥は施用しない。  
※ 基肥555は吸湿性が高いため、開封後は早めを使用する。

**② 土づくり**

- ・ pH6.0以上を目標に、苦土石灰を耕起前に散布する。
- ・ 堆きゆう肥又は醗酵けいふんを散布する。

資材名	10a当り施肥量	散布時期
苦土石灰	100kg以上	耕起前
堆きゆう肥	2m <sup>3</sup>	
醗酵けいふん	100~150kg	

**④ 播種作業**

- ・ 耕起は、乾いた状態で行い、碎土率を高める。
- ・ 播種作業は、9月下旬~10月上旬までに終える。但し、播種量は、時期に応じて適正量入るように努める。

**⑤ 播種後の排水対策**

- ・ 播種前に基幹排水溝を設置できていない場合は播種後に設置し、額縁排水溝と連結する。
- ・ 排水側の枕地に排水溝を増設し、排水促進を図る

**⑦ 防除基準**

〔基本防除〕

対象病害虫	使用機械名	薬剤名	希釈倍数	10a当り散布量	収穫前日数	総使用回数	
赤かび病	動力散布機	1回目 ワークアップ粉剤DL	2,000倍	3kg	収穫7日前まで	3回以内	
		2回目 トップジンM粉剤DL					4kg
	無人航空機	動力噴霧機	1回目 シルバキュアフロアブル	1,500倍	150ℓ	収穫14日前まで	2回以内
			2回目 トップジンMフル				
		無人航空機	1回目 シルバキュアフロアブル	8倍	0.8ℓ	収穫14日前まで	2回以内
			2回目 トップジンMフル				

〔随時防除〕

対象病害虫	使用機械名	薬剤名	希釈倍数	10a当り散布量	使用時期	総使用回数
うどんこ病	動力噴霧器	トリフミン水和剤	1,000~2,000倍	150ℓ	収穫14日前まで	3回以内

**○ 雑草防除**

区分	除草剤名	対象雑草	10a当り散布量	使用時期	総使用回数
播種後(土壌処理)	ハーモニ-細粒剤F	畑地1年生雑草	4~5Kg	播種後~麦3葉期(雑草発生前~発生始期)	1回
播種後(土壌処理)	ハーモニ-75DF水和剤	スズメノテッポウ	5~10g/水100ℓ	播種後~節間伸長期(但しスズメノテッポウ5葉期まで)	1回
生育期(畦畔散布)	バスタ液剤	畑地1年生雑草	300~500ml/水100~150ℓ	雑草生育期 収穫7日前まで	3回以内